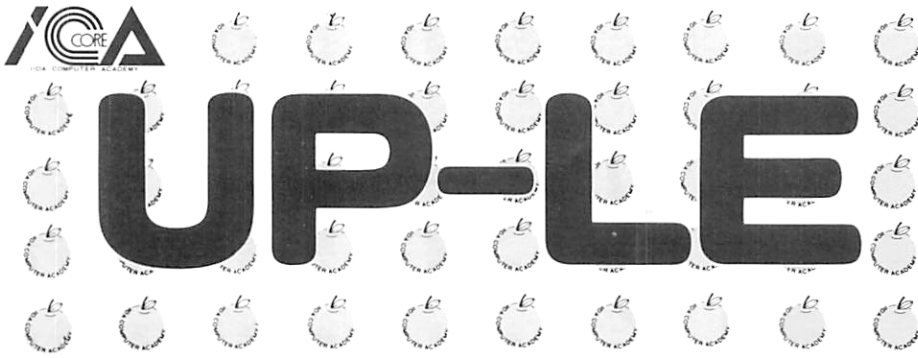


Vol.26

1996年3月8日

学校法人コア学園  
飯田コンピュータ専門学校  
〒395 長野県飯田市松尾明7591  
☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100



## 小さな挑戦



二月九日・十日、本年度の締めくくりとして新たな試みでの遊楽祭が行われました。  
第一日はバレーやバスケのスポーツ大会。二日目は一般公開とし、様々なイベントを催しました。  
卒業生一人一人の個性が独特のものをつくりあげ、とても興味深い卒業研究発表会でした。

### 南向きの大きな窓

## 苟日新、日日新

学校長 植原英勝

月日の過ぎ行く様を「光陰矢のごとし」とい  
うが、今日、急速な技術  
革新と更には政治、経済、  
社会の全てが激変する中  
では、「インターネット  
で情報が世界中を駆けめ  
ぐるがごとし」と言った  
方が適切かと思われるほどであ  
り、振り返って過ぎ去った時間の  
あまりに早いことに改めて驚るき  
の念を禁じ得ないのはひとり私ば  
かりであろうか。

我々に与えられた二十四時間は  
等しく共通のものであるが、その  
限られた時間の使い方、取り組む  
姿勢、延いてはその人生は千差万  
別である。

省みて後悔することの多さに我  
ながら忸怩たる思いしきりという  
のが本音である。はたして本当に  
全力を尽くしたのだろうか、やり  
残したことや諦めてしまったこと  
はないだろうか、なかなか成果が  
挙がらないのは怠惰を貪っていた  
からではないだろうか、・・・と。

そんな中で最近ある書物で冒頭  
の言葉に出会った。古代中国儒教  
の経書「大学」の一編で、「苟  
(まこと)に日に新たに、日々  
に新たなり」と読むようだが、瞬  
く間に過ぎ去ってしまう一日一日  
を大切に、常に意識的に前向  
きに取り組むことの必要を説いた

冒頭の言葉と共にこの「青春」  
の詩も、まさに青春真っ只中の卒  
業生、学生諸君にも贈呈したい。

言葉である。新鮮な期待と積極的  
な関心を持ち、新たなものに挑戦  
する自覚的な姿勢、自己啓発の必  
要を教えられる。迎える今日、そ  
して明日をそうした姿勢で生きて  
行こうとするものに他ならない。

前向きにといえ、一八〇〇年  
後半から一九〇〇年初頭に活躍し  
たアメリカの詩人、サミュエル・  
ウルマンの「青春」という詩を思  
い出す。「青春とは人生の或る期  
間を言うのではなく、心の様相を  
言うのだ・・・」と始まる詩である  
が、実はこの詩は、先年、赴任先  
の職場の先輩から教えられた。こ  
の先輩はまさに人生の大先輩で、  
その方にとってこの職場は定年退  
職後の第二の人生。本来ならば、  
あまり無理をせず適当に、とい  
うところであろうが、この「青春」  
の詩のような仕事ぶりで、考え方  
生き方をされていた。

この先輩の例に限らず、年齢で  
はとくに老人という方の中にも、  
こうした前向きな生き方をされて  
いる方にしばしばお目に掛かるし、  
ましてや現役で、企業で、地域で、  
社会でバリバリ活躍される方には  
見習うべき点が多い。その度に我  
に振り返って心にむち打つことの  
多いこの頃である。

クリスマス会

二年

「赤いものを身につけてくること」というかなり変わった規則のクリスマス会に、赤ペンを持っていった僕。こういうパーティーに出席すると、一人だけ浮いてしまう感があるのだが、あのクリスマス会だけは、めずらしく溶けこめたように思う。場を盛り上げようとする進行役に対して、それにノッている者もいれば、雰囲気など無視してひたすら飲み食いしていた者もいた。…後者は多分、僕なのだが。

しかし、用意されたものは、結構旨かったし（こればっか）会の趣向もよかった。それに、何といっても、終始なごやかに会が進行したことが第一ではなかっただろうか。新聞のゲームやってビンゴやって福引きやって景品もらって…何のへんてつもないパーティーだったのだが、参加した人はみんな、日頃のウサを、多少なりとも晴らせたのではないだろうか。

会が終わって、窓ガラスに描かれたスプレーアートを、洗剤を使って必死に消したことが、どういう訳か心に残っている。

クリスマスパーティー

クリスマス・パーティー

二年



十二月二十三日、学校において、クリスマスパーティーが開かれた。今までは会場を借りていたが、今回は学校なので、どうなるのか心配だった。

午後三時、パーティーが始まったのだが、始めのうちは何が何だかわからなかった。しかし、時間がたつにつれて、皆の顔が明るくなり、楽しそうな笑い声まで聞こえた。

パーティーの内容は、ジャンケンゲーム・まじかるポーズ・ビンゴなどで、心配していたの

も「うそ」のように楽しい時間が過ごせた。

ただ一つ問題だったのは、一年生の参加者があまりにも少なく、係の人も残念そうだった。ともあれ、参加者全員が満足そうだった。

次回、こうした企画が出た時は、全員が参加してくれるようPRをぜひとも行っていただきたい。

最後に、実行委員長をはじめとして、係員の人に一言、「ごろうさま。」そして、「ありがとう。」と一言、言いたいと思う。

卒業生就職状況（2月末現在）

氏名	就職先
井田 一 邦	山田工業(株)
伊藤 忠 倫	丸西産業(株)
梶 俊 太	健生会 アルテンハイム会地の郷
北 沢 忠 士	丸日電気(株)
北 林 義 雄	(株)新葉社
北 原 早 苗	綿半 (アルバイト)
木 下 誉 史	山田工業(株)
黒 川 和 彦	(株)山岸
小 池 玲 子	(株)タニガワ
酒 井 大 介	山田工業(株)
櫻 井 一 臣	
佐々木 隆	(株)飯島セラミック
佐々木 葉 子	飯田市役所

氏名	就職先
篠 田 淳 子	(株)メディット
下 田 優 子	豊田建設(株)
竹 村 利 香	(有)藤沢
遠 山 博 志	
戸 谷 公 昭	飯田管工事業協同組合
中 島 周 作	(株)飯田ケーブルテレビ
中 島 三 枝 子	伊賀良建設(株)
中 島 義 幸	下伊那生コン協同組合
林 奈 緒 美	龍共印刷(株)
藤 井 竹 志	
本 田 章 吾	
矢 澤 庸 弘	システムアスカ
山 田 剛 士	

## 遊楽祭について

一年

役委員の引継の遅れからきた準備期間の短さにより、不安からスタートした文化祭。

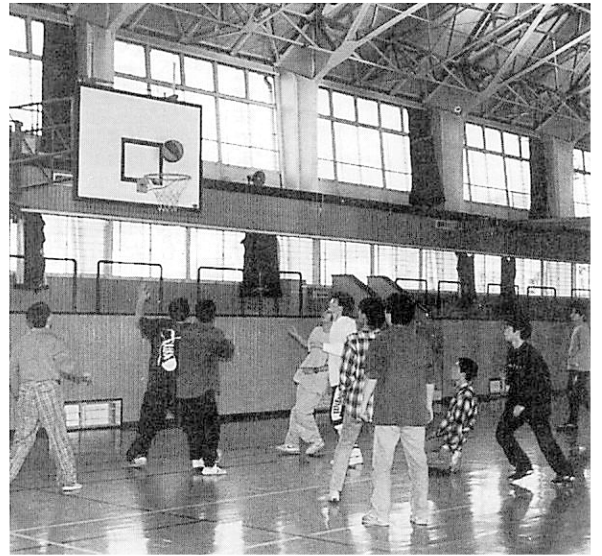
一年生中心の行事として、せめても準備期間は長くほしかったのだが、役委員の面々の突貫的活躍で、なんとかその前日まで話し合い、間に合わせる事が出来た。当日朝になって予定を変更する事もあったが、せば詰まっていたなりに、準備は早々に一時間もかからず、快調なすべりだった。

午後から始められたスポーツ

大会も二時間あまりの余裕もって始められて、暗示されてい「も

たつき」もなく、事は終始、極めてスムーズに進んだ。ゲームもみんな楽しんでいたと思うし、

遊楽祭一日目は成功したと言えるだろう。



## 遊楽祭

一年

二月九、十日に行われた遊楽祭について僕が思ったことを書きたいと思う。九日の午前中は、

一年生が中心の準備ということに感想を簡単に言ってしまうと、皆と協力しあえ、時間よりも早く準備ができたので、良かったのではないかと思う。

午後に行われたスポーツ大会については、バスケットとバレーボールであったが、バレーボールは全員参加ということで、面白くない試合になるのかという不安があったが、嬉しいことに

皆楽しめたスポーツ大会になって良かった。

十日の遊楽祭の時は、僕は、A端末のほうで、「来賓の方がお見えになったらわからないところを教えてあげる」という仕事をやっていたのだが、初めてということもあり、戸惑ってしまいうこともあり、教えてあげることもできなく、ただ、人がやるのを呆然と見ていたという自分の態度に腹がたった。

今度、また、このような文化祭が行われるのであれば、今年よりも数倍楽しい学園祭が行われれば良いと思う。

# 遊楽祭



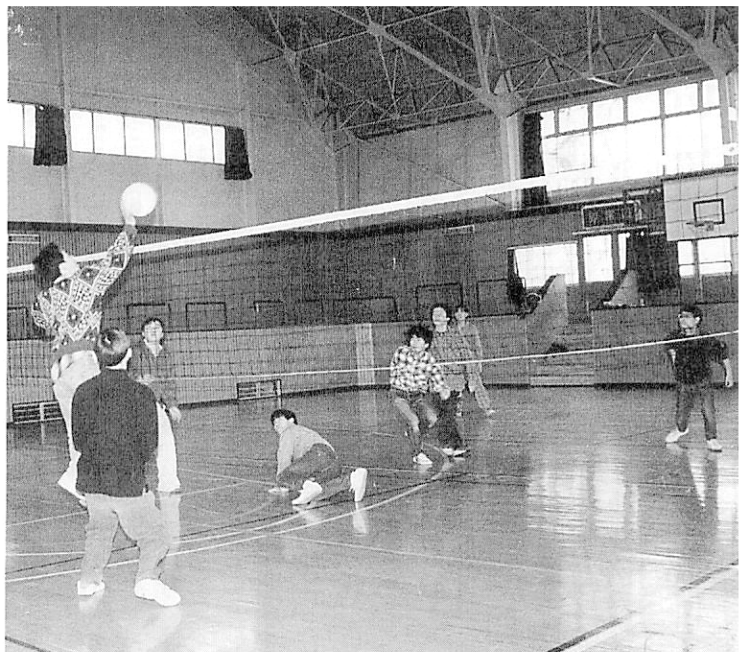
## 遊楽祭

一年

本年度の遊楽祭は例年よりも時期的に遅めになりました。

私自身、今までの遊楽祭を見ていないため、例年どうりかどうなのか断定的には言えないわけですが、とりあえずは「新役員としての第一関門はなんとかとっばできた。」と、いうような感じでしょうか？

第一日目のスポーツ大会は出場した人達が予想以上に楽しんでプレイしていたように感じました。



その場でのチーム分けでスタートしたわけですが、あまりムキにもならず、わりとなごやかだったのではないのでしょうか。

十日の一般公開当日。人の出入りも少なく、物静かで終わるように思えたが、屋過ぎ頃から少しずつにぎやかになってきて、ちよっぴりそれらしくみえた。

コンピュータ関連の技術の発達にともなった作品も見られ、これらが楽しみに思える。

いつの間にか二日間、「おつかれさまーっ!!」と、いう言葉が聞こえていた。

